

# e-Learning 便利 from 四国



## 第4号

### Index

おうちコーヒー「淹れる道具」にこだわる	P1
2021年度 知プラe開講科目一覧	P3
フォトギャラリー「スマホのカメラでナイスショット」	P6
編集後記	P6

# おうちコーヒー どうせ飲むなら「淹れる道具」にこだわる。

様々なコーヒーの淹れ方（道具）があります。  
手軽さ、コスト、味の方向性等を考慮すると  
使う道具が決まってくるかもしれません。

今回、ローコストで代表的なもの7点を  
簡単に紹介させていただきます。

詳細は、コーヒー専門店等にお尋ねいただくか、  
ウェブサイトでお調べください。



## ペーパードリップ

自分好みの味が作れて、  
気軽に始められます。  
ペーパーフィルタは使い捨てなので、  
後片付けも簡単です。  
豆をじっくり蒸らして、複数回に分けて  
お湯を注ぐことで奥深い味わいを  
感じることができます。



## サイフォン

ガラス製の器具ごしに、コーヒーが  
できあがるまでの過程が目でも楽しめる  
演出効果の高い抽出器具です。  
火加減と、ヘラでコーヒーを  
攪拌（かくはん）する段階が、  
抽出工程でも重要なポイントになります。

## ネルドリップ

基本は、ペーパードリップと同じですが  
ドリッパーという壁がないので、  
舌触りの滑らかなコーヒーになります。  
布フィルタは繰り返し使えますが、  
保管、洗浄がめんどろかもかもしれません。





## マキネッタ(エスプレッソ)

マキネッタとは、水を沸騰させてその蒸気圧でコーヒーを抽出する直火式のエスプレッソメーカーです。モカエキスプレスとも呼ばれています。ヨーロッパで普及していて、特にイタリアでは家庭に1台あるくらい生活に欠かせないものです。心地よい苦味と濃厚な風味が特徴です。



## コーヒーメーカー

ほとんどのコーヒーメーカーは、タンクに入れた水をボタンひとつで急速沸騰させ短時間で抽出します。機種によっては「浄水機能」「ミル(豆を挽く)機能」「蒸らし機能」など高機能なタイプもあります。



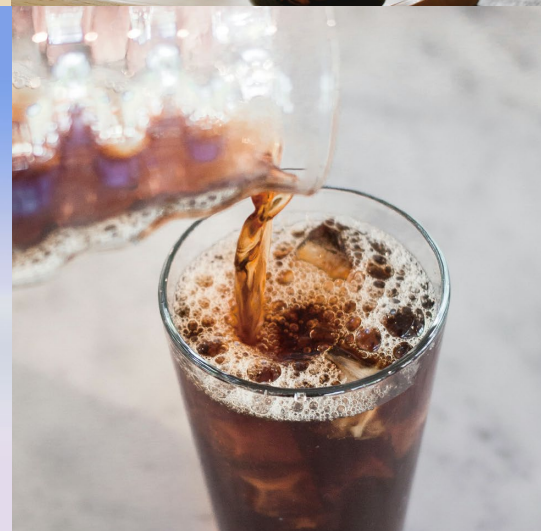
## フレンチプレス

コーヒーとお湯を入れ、金属フィルターを押し沈めたらあとは注ぐだけ。日本では紅茶用に発売されてブームになった経緯から、コーヒーより紅茶用として親しまれてきました。油分など様々な成分が抽出され、コーヒー本来の味わいを楽しめます。



## ウォータードリップ(水出しコーヒー)

コーヒーを水に浸すだけなので熱による化学変化がなく、低温抽出ならではのまろやかさと控えめな酸味が楽しめる抽出方法です。できあがるまでの時間はかかりますが、夜に作って冷蔵庫に入れておけば朝にはおいしく出来上がっています。



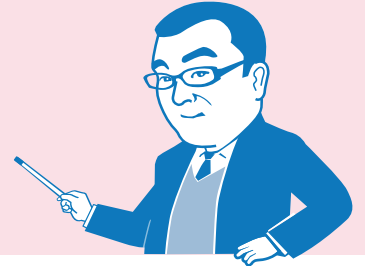


# 知プラ e 開講科目一覽

Opening course

前期16科目、後期45科目の  
合計61科目を共同開講します。

**NEW!** 新規開講科目は計5科目です。



## ●前期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	徳島で暮らす・徳島で働くを考える	金西 計英	1	徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関のOB・OGを講師に迎えて、経験の中から生まれた確信や考え方を語ってもらい、みなさんに自らのキャリア形成や地域社会との共生について、これからの持続可能世界を生きる意味について主体的に考えてもらう。
	外国人と四国遍路の歴史	モートン 常慈	1	四国遍路の1200年の歴史における外国人の歴史を細かく取り上げて、彼らが持っている四国遍路についての感想や思いを考察して、世界への四国遍路PR活動、そして、これからの課題(例えば、世界遺産運動)を紹介する。
鳴門教育大学	学校教員の世界	竹口 幸志 ほか	2	キャリア教育の一環として、様々な学部で学ぶ学生に対して学校教員という職業の魅力や課題を伝え、学生が自らの将来設計のために大学で何を学ぶべきかに気付くための機会を提供します。
	阿波学	藤原 伸彦 ほか	1	四国遍路の歴史や文化、歩き遍路体験者の心理等について、講義を通して学ぶ。
	デジタルものづくり入門	宮下 晃一	1	3Dプリンタを使うと、誰でも簡単にものづくりができる。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピーでき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でも自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。
香川大学	香川の文化と歴史	藤本 憲市	1	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げるができる。本科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	守田 逸人 ほか	1	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡、各地の方言、四国に関わる文学作品など、四国の歴史・文化に関わるテーマを取り上げる。
	四国の歴史と文化 その2 文化編	渡邊 史郎 ほか	1	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。
	コンピュータと教育 その1	林 敏浩	1	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。
	コンピュータと教育 その2	林 敏浩	1	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。
人工魚礁の開発と環境保全	末永 慶寛	1	水産資源生産力の向上のための施設として人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。	
高知大学	気象学入門	佐々 浩司	2	気象に関わる様々な現象は大気の運動や状態変化に伴って発生する。地球上の大気の動きを演示実験などにより説明するとともに、雨雲のできる様子、気象災害の起こる原因や、天気図の見方などについて解説する。
	大学生生活入門	高畑 貴志	2	大学生生活を有意義に過ごすために何ができるかを考えていただく科目です。そのため手助けとなる情報をお伝えします。加えて、大学卒業後にどうなりたいのか、それに向けて何をすればよいのかを主体的に考えていくための活動も用意しています。この科目では、eラーニングシステム上で皆さんに考えていただきたいテーマをお伝えし、そのためのヒントになる資料を目を通していただきます。その上で、次のような活動に取り組みてください。この科目では、eラーニングシステム上で皆さんに考えていただきたいテーマをお伝えし、そのためのヒントになる資料を目を通していただきます。その上で、次のような活動に取り組みてください。・指示に従って実際にどこかへ出向き、その証としてスマホ等を使い現地で撮影した自撮り写真などを提出・出向いた先で知ったこと、学んだことについてのレポート(感想や意見など)を提出・LMS上でディスカッションなど、またこの授業の特徴は、提示されるストーリーの軸に沿って、各回で示されるさまざまな出来事に取り組むという方法をとっていることです。このような学習方法をストーリー中心型カリキュラム(SCC)と呼んでいます。
	アクティブラーニング入門	高畑 貴志	1	今、小・中・高等学校では、アクティブラーニングの導入が進められています。都市部の有名進学校で先行して導入されているところは、既に実績を上げています。この授業では、いくつかのパターンを教材化していますので、この教材を受講者がアクティブ(能動的)に学んでアクティブラーナーとなり、将来教員になって、あるいは就職した後教育係となって、子供の親となって、アクティブラーニングの実践ができるようになることを目指しています。
	海洋地球科学概論	村山 雅史	2	太陽系惑星で唯一存在する海洋の成り立ちと役割について学び、地球規模での様々な物質循環や気候変動について理解する。
	<b>NEW!</b> インターンシップ入門	森田 佐知子	1	本授業は、インターンシップに関する基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では、インターンシップの種類やインターンシップに行く意義と合わせて、実習先の探し方や応募方法などの実践的なことも学ぶ。またインターンシップを活用してより深くその業界や仕事のことを学ぶための理論や、インターンシップにおける経験を自らのキャリア形成に活かすための方法についても学ぶ。各講義では、各人の考えや意見を受講生同士で共有し、フィードバックを得る機会を随時提供することで、多様な視点からインターンシップと将来のキャリアについて考察する力を醸成することを目指す。

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	知の探訪	金西 計英	2	大学における学習について、主体的に学習を進める態度を身につける。大学における「研究する」ということに関し、自らの言葉で説明できるようになることを目指す。
	モラエスの徳島 ～グローバリズムと異邦人～	金西 計英	2	ヴェンセスラウ・デ・モラエスの生涯とその作品を眺め、ゆかりの場所を紹介しながら、理解を深め、同時に異文化理解というものを考える。
	日本におけるドイツ兵捕虜 1914-1920 一四国の収容所を中心に	井戸 慶治	2	第一次世界大戦における日本の青島攻略により、ドイツ兵などの捕虜約5000人が日本各地に抑留された。とりわけ徳島県にあった板東俘虜収容所では、捕虜たちの文化上・経済上の諸活動や地元住民との交流がさかんにおこなわれ、彼らによってベートーヴェンの第九交響曲全曲が日本ではじめて演奏された。この講義では、当時の日本各地の収容所一特に四国の収容所一における捕虜の活動や日本側の対応などについて、最近発見された資料なども用いてさまざまな事実を紹介する。また、これについて、目録交流史や捕虜待遇の歴史というより広いコンテキストの中で、多面的な考察の視点を提供したい。そのため、時として担当教員以外の先生や関係者にも講義やインタビューによるお話をさせていただいたり、関連の場所を訪れたりする。
	現代科学と研究倫理	金西 計英	2	本授業では、現代社会における科学技術に目を向けることから始める。現在の生活は、科学技術の成果によって成り立つことから、研究とは何かについて考える。現代の研究は、多岐にわたることから、多様な研究分野に触れ、いろいろな研究フィールドに内在する倫理上の問題を、具体的な事例に基づき考える。また、企業との関わりについても触れる。
	大学の知の活用	井内 健介	2	本講義では、大学の知の活用に必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の知の活用に関する取り組みを紹介する。
	大学教育を考える	吉田 博	2	大学教育に関する14のトピックについて、関連する知識を得るとともに、各トピックに関連する問題点を考えることが本授業の目的です。
	行動統計学入門	山本 真由美	2	社会科学や行動科学を学ぶ際、目的をもって集められたデータを整理し、その中に存在する情報を記述統計、推測統計の手法を用いて分析、理解することが必要となる。この授業では、文系の学生にも重要な統計学の基本的な手法を具体的な演習課題をエクセルで解きながら学習する。
	数理科学の世界	大淵 朗	2	講義は一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結になります。内容としては、数学の歴史、古代から近代文明に見ることの出来る数学の様相(西洋だけでなく江戸時代や中国の数学を含む)、美術で使われる数学理論、数学を取り扱った文学、音楽理論に現れる数学の理論、数学者の人間像(古代から現代まで)、占星術で使われる数学などで、レベル的には高校数学の内容で充分理解できるものです。
	徳島を考える	豊田 哲也	1	徳島県の自然環境や歴史、文化、産業に関するテーマを様々な側面から取り上げて講義する。具体的には、吉野川の地形環境、藍産業の歴史、特産地の形成などの一端を紹介する。
鳴門教育大学	自動車概論	宮下 晃一	1	自動車社会の一員として責任をもって自動車と関わりていく上で知っておくべき自動車の社会的な役割と弊害、構造と技術、日常点検と整備の方法、万一の事故対応や保険制度について、幅広く解説する。
	子どもと学校	竹口 幸志	2	時代とともに子どもを取り巻く社会環境は変化してきました。本講義では、子どもの遊び、子ども同士のかかわり、子どもと親のかかわり、子どもと教師のかかわり、子どもと学校のかかわり、地域のかかわりなどを取り上げ、これからの教育と教育へのかかわり方について考えます。
	情報社会のくらし	竹口 幸志	2	本講義では、情報政策、情報経済、情報と法、情報教育、情報と倫理の観点から情報社会のくらしについて考察します。日々刻々と変化する社会において、情報技術が及ぼす影響やこれからの情報との付き合い方について考えてみましょう。
香川大学	情報のいろは	林 敏浩 ほか	2	情報は我々の生活を考える上で必ず出てくるキーワードである。我々が扱っている情報とはどのようなものなのか、本講義では情報を様々な視点から俯瞰してその特徴について講義する。
	地域コンテンツと知財管理 その1	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回では発明やブランドの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	地域コンテンツと知財管理 その2	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回ではインターネット時代におけるコンテンツやデザインの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	香川を学ぶ その1	藤本 憲市 ほか	1	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、四国遍路、栗林公園、瀬戸内海運の歴史、文化財、及び伝統食の一端を紹介する。
	香川を学ぶ その2	藤本 憲市 ほか	1	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、香川における産業とまちづくり事例、環境問題などに関する事例を紹介する。
	四国の自然環境と防災 その1	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地形が物語る壮大な四国形成史のドラマ。豪雨地帯と乾燥地帯の同居する島に生きる人々の水資源を求め知恵のかずかず。瀬戸内の自然環境の魅力と里海再生のとりくみ。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	四国の自然環境と防災 その2	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地球最大級のプレート境界型地震・東南海・南海地震の危険が迫る太平洋岸。それとたたかおうと立ち上がる地域の力。自然の営みと人間の関わり方の新たな模索。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	四国の地域振興 その1	林 敏浩 ほか	1	四国における地域振興の取組みを以下の側面から学びます。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と感心を培い、地域活性化への道を探ります。
	四国の地域振興 その2	林 敏浩 ほか	1	四国における地域振興の取組みを以下の側面から学びます。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と感心を培い、地域活性化への道を探ります。
	高度情報化社会の歩き方	後藤田 中 ほか	1	高度情報化に伴い、我々の身の回りの社会環境は、益々創造的で豊かになっている。AIやIoTといったテクノロジーが進化し、我々の生活に溶け込み、“便利な”サービスの根幹をなし始めている。一方で我々の生活が豊かになる反面、見落としがちな諸問題も生まれ始めている。この授業では、高度情報化社会に伴う我々の社会環境における現在、そして今後の予測に対し、光と影、それぞれの一端を紹介し、人と情報がどのように接すれば、より豊かな生活を現実にできるか学ぶ。
データ利活用と オープンイノベーションで創る 未来のまちづくり	米谷 雄介	1	スマートシティは新たなまちづくりのモデルである。従来のインフラ中心からICT・IoTに基づくデータ利活用中心、言い換えるとハードウェア/サプライヤ中心からソフトウェア/ユーザー中心のまちづくりへの転換である。この新たなまちづくりのモデルの特徴は、異業種・異分野の協働を基本(分野横断型)とし、社会課題の解決を中心に据え(課題解決型)、サービスの利用実績によりサービスは進化していく(進化した)として、自分たちの使う公共サービスは自分たちで創るというDIY思想(市民中心設計)となっている。近年様々な基礎自治体においてスマートシティに向けた動きがあるが、スマートシティの推進を担う人材の育成が課題となっている。そこで、本授業は、スマートシティの推進に必要な素養の獲得を支援する。受講者は、データ利活用技術やオープンイノベーションの考え方を知り、活用することを体験する。香川におけるケーススタディを通じて自分たちの地域のあり方を再見し、地域の課題解決に資するデータ利活用サービスを考案する態度を獲得する。	

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
香川大学	 データサイエンスを 活用した防災・危機管理	野々村 敦子	1	日本は地震や台風など大きな自然災害による被害を受けている。環境変化により従来にならぬ大規模自然災害が発生する可能性が高まり、さらには社会システムの高度化・複雑化・国際化にもない、これまでにならぬ災害が発生する危険性も増大している。いま、自然・人為的な災害に対応可能なレジリエント(しなやか)な社会の構築が求められている。本講義では、自然災害の軽減を念頭にデータサイエンスによる防災・危機管理のあり方と、地域における災害に対する安全・安心について学ぶ。
	 レジリエントな社会の構築と コンピュータシミュレーション	吉田 秀典	1	コンピュータシミュレーションは、「第3の科学」とも言われ、自然科学、工学、経済学、社会科学における理論・システムを管理モデルで表現し、コンピュータを用いて仮想実験や事象予測を行う技術である。今日では、製造業における工業製品の設計や新規材料の開発、自然現象の解明による災害対策、社会インフラ整備のための構造物設計・安全評価、金融・ビジネスにおけるマーケティングなど多様な分野において欠かすことができない。とりわけ、ビッグデータとAIなどの数理技術との融合により、製品の設計・製造プロセスの最適化、公共インフラの維持・保安水準の向上、津波・地震等の災害予測精度の向上、安価かつ環境性の高い電力・エネルギー製造と供給、テレメディック医療・予防サービス普及による医療費削減など幅広い分野において新しい価値を創造することから期待されている。本講義では、レジリエントな(強靱な)社会構築におけるコンピュータシミュレーション活用事例を挙げ、その重要性と必要不可欠であることを学ぶ。
	 災害と データサイエンス	石塚 正秀	1	防災に活用できる科学的なデータとしては、災害に関するデータと、それを観測するテクノロジーについて、災害前(災害が起こっていない日常の時点と、災害が起こる直前)と災害後(直後、そしてライフライン復旧が求められる事後)という3つのステージでの議論が重要である。「災害前」としては、例えば、気象データなどは、雨量や湿度、温度、気圧などのデータが各地の気象観測所から集められ、また人工衛星から、可視光線、赤外線、電波などのセンサーを使って地表や地中を観測しデータが収集される。このようにローカルからグローバルにいたる様々なデータを活用し、各種の災害情報を作成され、防災や減災に役立てられる。「災害後」としては、被災地に近い定点観測地点や衛星からのデータ、そして現場周辺のユーザーが発信しているデータなどが避難等に重要である。また、オープンデータの活用によって、国や自治体等と住民が連携しなから二次災害の減災に寄与することもできる。本講義では、こうした「災害」に係るデータの活用方法について学ぶ。
愛媛大学	タンパク質で生命を斬る	澤崎 達也	2	一般的にタンパク質という、食物等に含まれるものが知られており、人の健康を維持するために摂取していく栄養素という印象を持つでしょう。実は、タンパク質にはそれ以外にも、大きな人の生命の維持という重要な役割も担っており、このタンパク質の役割を理解すると、これまでは単なる「食」であったものが、より理論的に説明できることに気づきます。本科目は愛媛大学プロオサイエンスセンターに所属する教員が提供する科目であり、最先端のタンパク質に関する研究に触れながら、タンパク質の力と魅力について伝えていきます。タンパク質をよりもっと身近に感じ、科学の魅力への入り口でもあります。みなさんと議論を展開できることを期待しています。
	ユーラシア大陸における人と 金属生産の関わり	村上 恭通	1	今から約10000年前、西アジアにおいて自然銅が利用されるようになり、人は金属の価値に触れることとなりました。その後、鉱石を製錬して銅を得るまでに数千年、さらに鉄を製錬するまでに数千年と、長い時間をかけて古代人は金属を生活の中に取り入れられるようになりました。その過程で金属の技術、価値は大きく変わっていきます。また西アジアからユーラシア草原地帯を経由して北アジアやヨーロッパに伝播していった銅や鉄の技術や文化は、その技術や価値はまた大きく変わりました。金属の技術や利用法は地域の文化や環境に応じて多様に展開したのです。発掘によって地中から現れたものを対象としながら、金属の技術や利用のあり方を通じて、ユーラシア大陸のダイナミックな歴史をみなさんと味わうことができます。
	大学生のための 『安全・安心』の基礎講座	伊藤 和貴	2	安心とはどういう状態であろうか。少し深く考えると安心できる要素は人によって異なることが判る。この講義では、全ての人が安心して暮らせるために、その根本となる安全と健康について、個人としてできることや組織として管理する時の注意などについて、全15回を通して基礎的な知識を習得することを目標とする。
	太陽光利用型植物工場における 知能的農作物生産	藤内 直道	1	太陽光植物工場は、太陽光エネルギーを最大限に活用して大規模な農作物生産を行う施設であり、気温・湿度・CO <sub>2</sub> ・光強度などの様々な環境要因を制御することで4定(定時・定量・定品質・定価格)の農作物生産を実現します。本講義では、太陽光植物工場における知能的農作物生産を支えるスピーキング・プラント・アプローチ技術(植物診断に基づいた環境制御)をはじめ、環境制御の基礎となる気温・湿度および暖房、植物の最も重要な環境応答である光合成と蒸散について学びます。
	昆虫と環境	小西 和彦	1	昆虫は地上のありとあらゆる環境に進出し繁栄しているグループで、身近に目にすることも多く、多岐にわたります。昆虫類はこれまでに知られている種だけでも約10万種いて、実際には50万種はいるだろうと考えられているくらい種数が多く、全動物の種数のうち80%以上を占めるといわれています。本科目では、このように多様な昆虫についてその特徴を理解し、どうして多様性が増大したのかを考えます。そして、その多様性が現在の日本でどのような状態にあるのかを知り、私たちの周りの自然や環境について考えるきっかけとします。
	アカデミック・プレゼンテーション (PowerPoint編)	仲道 雅輝	1	「伝わるプレゼンテーション」をすることで、分かりやすく効果的な研究発表を行うことができるようになることを目指します。本授業では、プレゼンテーションソフトMicrosoft Office PowerPointを用いて、「伝わるプレゼンテーション」を行うために、スライド修正の実践演習を交えながら必要な技術を修得します。
	インドネシアの文化と会話	島上 宗子	1	世界最大の島嶼国家であり、多様な民族からなるインドネシアは、日本とも歴史的・経済的に深いつながりをもっている。インドネシア語の初歩的な会話と基本文法を、インドネシアの習慣や文化を交えながら学ぶことで、インドネシアの言語と文化に対する理解を深める。
	私たちの生活と材料	小林 千悟	1	私たちの生活の中で利用されている様々な機能を持った材料について紹介します。それら材料の開発の経緯や要求される特性をいかに引き出すかなどについて説明します。また、資源・環境・エネルギーの観点から循環型社会を構築するために不可欠な機能材料についても解説します。何気なく使っている製品にも様々な機能を持った材料が活用されていることを知ってもらいたいと思います。
	身の回りの放射線	岡野 聡	1	現在われわれの身の回りには産業機器、エネルギー、安全管理、医療・福祉などの分野で放射線を利用した様々な技術が使われています。しかしながら、われわれは放射線について、どのくらい理解しているのでしょうか。放射線とはいったい何。なぜ危険なのか。安全に利用する手法はあるのか?など、科学としてきちんと理解している人は少ないのではないのでしょうか?そこで、身の回りにおける放射線について基本的な性質と安全に利用するための方法を学びます。
	和算の世界	河村 泰之	1	和算とは西洋の数学が入ってくるまでの日本の数学、特に江戸時代に普及・発展した日本の数学のことをいいます。当時は、和算を楽しむ人が数学の問題を算額とよばれる絵馬にして神社・仏閣に奉納する習慣がありました。愛媛県にも多数の算額が残されています。この授業では和算に関して、その歴史、計算の道具、図形公式、算額に記された図形問題などを学びます。
研究倫理	裏 和宏	1	卒業論文作成や将来研究者・科学者になる人だけでなく、科学技術を利用して生活する私たちが持っている責任感、倫理観とは何かについて考え学ぶ。我々の生活は、科学技術の成果の上に成り立っており、科学技術が社会に及ぼす影響は計り知れないほど大きい。科学技術の健全な発展のために必要な心得についても触れる。	
高知大学	インタフェースデザイン概論	三好 康夫	1	本授業では、ヒューマンインタフェースの概念や人間の特性、情報システムの使いやすさ等について概説し、主にソフトウェアのユーザインタフェース設計手法について言及する。情報システム等の使いやすさの論理的な評価方法や、使いやすさを意識したGUI設計の考え方を学ぶ。
	学びの統合入門	杉田 郁代	2	大学での学びを意味のあるものにしていく手助けをする科目です。講義のノートの取り方、取り組み課題に関連する情報収集の仕方、集めた情報の管理の仕方、そして、収集・管理している情報からレポートへのアウトプットにつなげる具体的な方法を学びます。この科目はeラーニングですが、ビデオの視聴はほとんどありません。タスクの提出やLMS上のディスカッションなど、自律的に取り組む活動で構成されています。この授業では、提示されるストーリーの軸に沿って、各回で示されるさまざまな出来事に取り組むという方法をとっています。
	キャリアで活かす ITリテラシー	高畑 貴志	1	ITパスポートの教科書に沿って、以下の要領でITパスポートで求められる知識を順に身に付けていきます。・まず教科書で、ITパスポートに必要とされる知識を学習してください。・重要なポイントを説明文に起こしてみよう。説明文のうち、具体的に重要な事柄を5〜10個選んでレポートとして提出してもらいます。・その上で、オンラインで公開されているITパスポートの過去問に取り組むことで、学習した内容を確認してください。・期末試験をコース上で実施します。
	業務効率化のための IT活用入門	高畑 貴志	1	日々の業務における「ひとつひとつでは単純な処理が大量かつ頻繁に発生する状況」を想定し、IT技術を用いた半自動化により業務を効率よく処理する技法を身に付けます。このような処理の具体的な例を挙げます(授業で学べば、短い時間でできるようになります)。・複数の名簿リストを統合し、重複をなくして整える。・多数選択単一回答式のアンケートを、問題集に関係なく一定の時間で集計する。・複数のグラフに、同一の複雑な書式を、各グラフにつき一手順で適用する。・名簿から、特定の条件に該当する人だけをピックアップして、メールを一斉に送る。・対応表をもとに、複数のファイルの名前を一括して変更する。・表形式のデータをから、特定の条件に該当するものを抽出する。・表形式のデータを、属性的なことに集計する。手軽に活用できるよう、Microsoft Excelを中心に「プログラミング」まで踏み込まない範囲の技法を教えます。また、大学が所在する地域に関する統計データを扱うことで、地元への理解を深めます。
	NPOと大学の経営	岩崎 保道	2	NPOにおける各分野の社会的役割や経営環境について解説する。さらに、大学の機能や経営環境について解説する。これらを四国の状況や事例を踏まえて展開する。授業方法は動画の視聴を基本として、教科書を使用しながら説明する。
	ピア・サポート理論と実践	杉田 郁代	2	人を支えるピア・サポート理論とその活動を実際に行うためのプロジェクトマネジメントについて学びます。ピア・サポート理論は、教育心理学や臨床心理学、健康心理学等の知見を複合しています。その基礎知識を獲得するとともに、ピア・サポート活動に必要なコミュニケーショントレーニングについても授業の中の体験を通して学びを深めていきます。最終的には、プロジェクトの進め方等の基礎知識を身につけることで、すぐにピア・サポート活動を実践できるように進めていきます。
	キャリアプランニング	森田 佐知子	1	本授業は、キャリアプランニングの基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では、キャリアプランニングの基礎となる理論と合わせて、自己分析や、進路に関する選択肢の増やし方、職業研究の方法等を説明する。また、キャリア形成に関する自分の意見や自己分析・業界研究の結果、キャリアビジョンなどを受講生同士で共有し、フィードバックを得る機会を随時提供することで、多様な視点からキャリアプランを見直す力を醸成することを目指す。
 消費生活入門	小島 郷子	1	新しい経済社会の消費者像や消費者としての役割を理解するとともに、消費者としてSDGsの目標を達成し、持続可能な社会を形成するためにできることについて考える。	

# 夕暮れ時、 スマホのカメラでナイスショット！



もはや、侮れないスマホのカメラ機能。フォーカスロック、望遠、露出補正等、いろんな機能を駆使して、映える写真をゲットしましょう！

## 編集後記

大学連携 e-Learning 教育支援センター四国 藤本 憲市

平成 26 年度から提供が開始された知プラ e 科目は、令和 2 年度で、はや 7 年を迎えました。スタート当初、8 科目の提供に対して延べ 600 人程度であった履修登録者数は、令和 2 年度には、なんと、62 科目の提供に対して延べ 1 万人を超える人数になりました。多くの学生さんのニーズにあう科目を提供できている状況をとても嬉しく思います。さらに令和 3 年度には、香川大学と高知大学から 5 科目が新しく提供される運びとなりましたので、学生のみなさん、興味を惹かれる知プラ e 科目があれば、是非受講してみてくださいね。

さて、新型コロナウイルスに対するワクチンが開発され、

本邦でも、医療従事者に対するワクチンの先行接種が先月に開始されました。ようやく、一筋の光明が見えてきたところでしょうか。ただ、令和 3 年度も現状どおり、オンライン授業やテレワークが続くかもしれませんね。そこで今回は、みなさんに、オンライン授業の受講やテレワークの合間におうちでほっと一息いれていただくためのコーヒーを特集してみました。コーヒーの味わいは、コーヒー豆の種類やお湯の温度だけではなく、道具も重要な要素となるそうです。普段インスタントコーヒーをご愛飲されているかたも、一味違う本格的なコーヒーで寛いでみてはいかがでしょうか。

## e-Learning 便り from 四国 第 4 号



徳島大学



鳴門教育大学



香川大学



愛媛大学



高知大学

発行・制作 大学連携 e-Learning 教育支援センター四国

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL:087-832-1365

mail:chipla\_el\_info-c@kagawa-u.ac.jp

知プラ e

検索

知プラ e ウェブサイト



<https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp>